

2025年度 専門学科・総合学科出身者入試 出題の意図

| 科目 | 出題の意図  |
|----|--|
| 英語 | <p>1 読解：英語で書かれた一般的なテーマの文章を読み、文脈に合った単語の意味を選択でき、著者の発言を適切に判断できるかを問う。</p> <p>2 文法：英語の基本的な構文や表現を理解しているかを問う。</p> <p>3 図表と文章：図表と会話といった複数の形式の情報源から、柔軟に情報を読み取り、必ずしも明示されていない事柄を類推して背景事情を判断して英語で答えられるかを問う</p>   |
| 数学 | <p>入学後の授業に必要な知識を有しているかどうかを調べるために、「数と式」、「2次関数」、「図形と計量」に関する問題を出題している。大問1では、因数分解や根号を含む式の計算、大問2では2次関数とそのグラフに関する基本的知識の有無、大問3では三角比に関する基本的な知識の有無を問うている。また、大問4では2次関数と三角関数がグラフ化できるかどうか、大問5では文章を読んで解答を導く能力の有無を問うている。</p>   |
| 化学 | <p>I は、原子の性質について、知識と理解力を問う問題である。原子の原子番号、イオン化エネルギー、質量数などと周期表の関係性について、どこまで理解できているか問う問題とした。</p> <p>II は、水溶液について、知識と理解力を問う問題である。溶液に関する語句の意味や濃度について、どこまで理解できているか問う問題とした。</p> <p>III は、中和反応について、知識と理解力を問う問題である。酸と塩基の組合せで中和点が、どんな領域のpHに存在するか、適切なpH指示薬を選択するとともに、中和滴定実験に加えて、モル体積の知識を組み合わせ、反応における物質質量について、どこまで理解できているか問う問題とした。</p> <p>IV は、酸化還元反応について、知識と理解力を問う問題である。酸化と還元に関連する語句とともに、酸化還元滴定実験を例に、実験で観察される現象と反応における物質質量について、どこまで理解できているか問う問題とした。</p> |
| 生物 | <p>本問題は、高等学校で学習する「生物基礎」に関する基本的な知識を広く身につけているのか、更に生物に関わる現象や仕組みについて正しく理解しているのかを主に問うものとなっている。また、一部の問題は、生物に関わる知識や問題で示した情報を用いて、正解を導くための応用力も測るものとなっている。</p>   |